

Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

神奈川県横浜市

S・Nさん

娘が3歳、息子が1歳の時に主人を事故で亡くし、たくさんの方々に見守られ、この春、娘は無事高校を卒業致しました。

事故当時、私は25歳でした。主人が亡くなった時、私が自殺しない様、主人の友達が毎日数人で訪ねて来てくれました。たくさんの手続きはすべて主人の会社の方や私の兄がしてくれました。クリスマスには、主人の会社の東京の支店の方がプレゼントを贈っていただきました。おそらく主人も知らない方だと思います。まだまだたくさんの方々に支えられました。一生感謝して生きていきます。また育成基金があったおかげで、心にもゆとりを持って子育てができました。

16年間、大変お世話になりました。

愛知県名古屋市

N・Tさん N・Mさん

息子さんより

育成給付金の給付を、今まで本当にありがとうございました。正直、今まで給付金のことは知らず、このたび母から初めて知らされました。

何の苦勞もなく勉強や部活が出来たのは、育成基金のおかげだと思います。これからは僕が家族を支えていきたいと思っています。

お母様より

14年間、本当にありがとうございました。経済的に心配することなく、計画的にお金を使うことができました。

現在はパートに出ておりますが、子供が小さいうちは一緒に過ごしたかった私は、内職をしながらも小学校低学年まで一緒に過ごせました。これも交通遺児育成基金のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。あと一年、下の子がお世話になります。よろしくお願い致します。

大阪府大阪市

S・Rさん

長い間、育成基金にお世話になりありがとうございました。おかげ様で、息子は1年間浪人生活を過ごしましたが、この4月から第一志望の大学に入学することができ、一人暮らしを始めています。主人が亡くなり17年が過ぎました。あの頃は本当に大変で不安ばかりでしたが、優しい息子に育ってくれました。これも育成基金の助けがあったからと感謝しております。

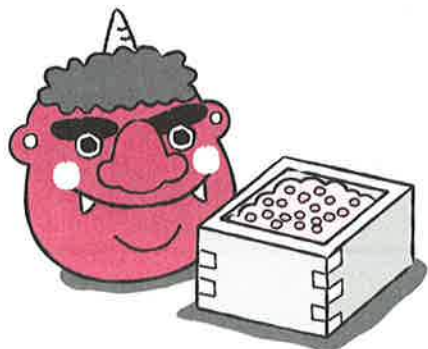
息子の自立を機会に、私も子離れをして、新しい楽しみを見つけていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

新潟県魚沼市

K・Cさん

いつもお世話になっております。長男もおかげ様で希望の高校へ合格しました。中学校は目と鼻の先だったので、朝が苦手で困惑していましたが、親の心配と裏腹に子供の環境の変化への適応力には、本当に驚いています。高校へは5キロの道のりを自転車で登校しています。朝、「事故には充分注意して」と「行ってらっしゃい」と息子の後ろ姿を見送りながら、いつの間にかたくましくなっているのに気が付き、月日が経つことの速さを感じている今日この頃です。

次男は小学五年生に進級し、野球チームに入部し、休日は練習、大会に忙しく活動しています。祖父母も今のところ元気で、有り難く思います。健康が何よりの幸せと日々実感しています。これからもお世話になります。よろしくお願い致します。



東京都板橋区

S・Sさん S・Mさん

息子さんより

交通遺児育成基金の皆様、こんにちは。この度、給付金の終了と言うことで、長い間ありがとうございました。親もいろいろ助かったと思います。僕自身も今年、無事に大学に合格することができました。理工学部なので忙しい毎日ですが、こうして忙しい毎を送れるのも、皆様の支えもあってのことだと思い、とても感謝しております。

これからも皆様が交通遺児の支えとなることを願っています。

お母様より

この度、給付終了のお手紙をいただき、淋しい思いと、もうそれだけの年月を経たのかという思いが交錯しました。

当初は大金を預けることに抵抗があり、なかなか決断できなかったのですが、国のバックアップがあること、払込金額以上が戻ること、定期的に一定額が受け取れるので、生活費や教育費の一助となるであろうことから申し込みを決断しました。正しい選択だったと思い、とても感謝しております。おかげさまで息子は希望の大学に合格し、大学生活を満喫しているようです。

この不景気で母子家庭の子供は、進学を断念せざるをえない状況であることをTVで何度も見ましたが、そうならず済んだのもこの基金のおかげです。ここまで来るのにあたり、基金の方々はじめ、多くの方に支えていただいた事を忘れず、主人の分まで人生を謳歌していってほしいと思っています。



「みんなの文集 30周年記念号」によせられたお便り

昨年10月15日に発行した「みんなの文集 30周年記念号」に、さまざまな感想が寄せられましたので、一部ご紹介いたします。感想はまだまだ受け付けておりますので、引き続きお送りください。

- ・自然に笑顔にしてくれる表紙が大好きです。100%ORANGEの及川さんのスマイルトーク、特に良かったです。周囲を気にせずとにかく自分の好きなことへの追求。子供達と共に、私も追求していきたいと感じました。(A・Sさん)
- ・「子育ての悩みQ&A」では、じぶんと同じ立場の方々の悩みに共感し、前向きに頑張っていくしかない事を再確認しました。「死」という事について、子供達ともう一度話し、伝えていきたいと思います。橋本むつさんについて初めて知りました。(A・Yさん)
- ・うちは高校3年生～3歳まで子供がいるので、兄の勉強のことから3歳のボール遊びのことまで、やる事がたくさんあります。文集の「先輩からのメッセージ集」を読んで励まされました。
- ・橋本むつさんのこと、詳しく知りたいな、と思っていたので、今回コーナーを設けていただき、どういう人生を送られた方だったのかを知ることが出来て良かったです。このような方々の善意に支えて頂いていることを日々忘れないよう、大切なお金として使わせていただきます。
- ・発行される毎に勇気づけられて子供達も育ちました。間もなく卒業することになります。映画観賞は楽しく、夏休みを過ごしました。

【基金事務局より】

いつも基金へのお便り、ありがとうございます。

さて、2011年になりすこし経ちましたが、みなさんはどのようにお正月をすごしましたか？まだまだ寒い日が続きますので、風邪などに気を付けてくださいね。さて、今号のスマイルズでは、恒例の映画鑑賞券プレゼントを実施しておりますので、同封した応募用紙でご応募ください。夏休み同様、ご家族で映画をお楽しみください。当選結果を楽しみにしててくださいね。